

広島交響楽団



第25回

廿日市 定期演奏会

2022
4.17
SUN

15:00開演
(14:15開場)



指揮 / 飯森範親

Conductor: Norichika Iimori

モーツァルト：歌劇「後宮からの誘拐」K.384 序曲
Mozart: Die Entführung aus dem Serail K.384 Overture

モーツァルト：交響曲第35番ニ長調 K.385 「ハフナー」
Mozart: Symphony No.35 in D major K.385 "Hafner"

ムソルグスキー(Arr.Ravel)：組曲「展覧会の絵」
Mussorgsky (Arr. Ravel): Pictures at an Exhibition



飯森範親の颯爽
友情に捧げた音の絵画展

はつかち文化ホール ウッドワンさくらびあ大ホール

入場料〈全席指定(税込)〉 **S席3,800円/A席3,300円(A席学生1,500円)** ※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。当日要学生証提示。
※学生席は割引なし。ウッドワンさくらびあ事務局と広響事務局のみ取扱い。

チケット発売日 ■さくらびあ倶楽部会員/2月6日(日)
■一般/2月13日(日) ■広響事務局/2月14日(月)

プレイガイド ウッドワンさくらびあ事務局、ローソンチケット(Lコード63051)
チケットぴあ(Pコード210-101)、広響事務局

●さくらびあ倶楽部会員/500円引(ポイント対象外。オンラインチケットの取扱いはありません。)
※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、入場制限する場合があります。

■主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社 ■共催/公益財団法人廿日市市芸術文化振興事業団

■特別協賛/  中国電力

■協賛/ウッドワン、シブヤ、生活協同組合ひろしま、テリカウイング、フマキラー、山崎本社 ■後援/廿日市市、廿日市市教育委員会

お問い合わせ/ウッドワンさくらびあ事務局 ☎0829-20-0111、広響事務局 ☎082-532-3080

アクセス/広電宮島線「廿日市市役所前」駅から徒歩7分、JR山陽本線「宮内串戸」駅から徒歩約15分 ※駐車場には限りがあります。ご来場は公共交通機関をご利用ください。

広島交響楽団



プロ改組50周年
「挑」

第25回

廿日市 定期演奏会

飯森範親の颯爽 ～友情に捧げた音の絵画展

1995年から2002年まで広響正指揮者を務め、現在は山形交響楽団、日本センチュリー交響楽団、東京ニューシティ管弦楽団など様々なオーケストラのポストを務めながら精力的に活躍する飯森範親。

モーツァルトは、ウィーンでセンセーションを巻き起こした「後宮からの誘拐」と

友人であったハフナー家のためにセレナードから編曲した35番を。

ムソルグスキーが亡くなった友人ハルトマンの遺作展を訪れ、その絵画から得た印象に触発されて作曲した「展覧会の絵」をラヴェルによる細密かつ豪華な編曲でおおくりします。



© 山岸伸

指揮／飯森範親 Conductor: Norichika Iimori

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年の東京交響楽団ヨーロッパツアーでは「今後、イイモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。その後、同楽団とは正指揮者として密接な関係が続け、現在は特別客演指揮者。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビューを飾る。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞。

海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、ブラハ響などに客演を重ねる。01年よりドイツ・ヴェルテンベルク・フィルの音楽総監督 (GMD) に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。日本ツアーも成功に導いた。

東京交響楽団特別客演指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。2014年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者、2007年山形交響楽団音楽監督、2019年シーズンより同楽団芸術総監督に就任。2020年1月より東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、同年4月より中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2021年4月より東京ニューシティ管弦楽団ミュージック・アドヴァイザー(次期音楽監督)に就任。

2020年10月、新国立劇場のシーズンオープニング公演であるブリテンのオペラ「夏の夜の夢」を指揮、好評を博し大成功を収めた。

オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>

広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市「広島」を拠点に「Music for Peace～音楽で平和を～」をテーマに活動するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに、マルタ・アルゲリッチを平和音楽大使に迎えている。1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。海外ではオーストリア、チェコ、フランス、ロシア、韓国、ポーランドで公演を行い音楽によるメッセージを発信している。

「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」ほか受賞。公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>

